

めざす学校の姿

- ・子どもが生き生きと過ごす学校
- ・一人一人を大切にし、認め、伸ばす学校
- ・安全、安心な居場所としての学校
- ・家庭、地域から信頼される学校

学校教育目標 (めざす子どもの姿)

- ～命 やさしく かしく やりぬく子～
- ・命を大切にする子ども
 - ・心豊かで思いやりのある子ども
 - ・よく考え工夫して学習する子ども
 - ・協力して最後までやりぬく子ども

めざす教師の姿

- ・子どもを愛し子どもに寄り添う教師
- ・教育に対する情熱をもち学び続ける人間性豊かな教師
- ・信頼し合い、目標に向かってチームとして協働する教師
- ・誰からも信頼される教師

学校教育基本方針

- (1) 知・徳・体のバランスがとれ、「生きる力」をもった人間性豊かな児童の育成に努める。
- (2) 児童や地域の実態を踏まえ、「生きる力」を育む教育課程を編成し、実施、評価する。
- (3) 「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を貫くものとして、学級経営を充実させる。
- (4) 深い児童理解のもと、的確な指導・支援により、児童の個性が発揮できる教育環境の充実に努める。
- (5) 合理的配慮を前提に一人一人の教育的支援ニーズに応じた特別支援教育を行う。
- (6) 郷土への理解を深め、グローバルな視点を持てるよう、将来に必要な基盤となる能力や態度を育成する。
- (7) 常に研修に励み、教師としての資質の向上に努める。凡事を徹底し、児童・教師同行の姿勢によって全教育活動推進をとおして教育目標の具現化を図る。
- (8) 開かれた学校をめざし、家庭や地域との連携を一層深めながら、信頼され共にある学校づくりに努める。

○授業規律の徹底 (3つのルール)

- 「あいさつや返事をしっかりしよう」
- 「いつもよいせいをしよう」
- 「人の話をしっかり聞こう」

○基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着

- ・教師の働きかけによる知識・技能を獲得しようとする粘り強い態度
- ・繰り返し学習 (eライブラリの活用)

○個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善及び評価

- ・学習者を主体とした甲府スタイルによる授業づくり
- ・各教科の特質に応じた言語活動の充実
- ・一人一台端末等のICT環境を最大限生かした授業の充実

○家庭と連携した家庭学習の定着

- ・「自学ノートの手引き」を活用し、「自学ノート」を使用した自主学習の定着

○読書活動の充実

- ・教科と連携した図書館利用の推進
- ・朝の読書と読み聞かせ

確かな学力の育成(知)

○基本的な生活習慣・規範意識の育成

- ・あいさつ(前言御礼)、言葉づかい、聞く態度の醸成
- ・体験を通じたきまりを守る力の育成

○目標に向け最後まであきらめない心の育成 (人権教育)

- ・肯定的な評価による自己有用感の育成
- ・困難や挫折に直面しても最後まであきらめずに取り組む態度の育成

○自分の大切さ、他の人の大切さを認める心の育成 (人権教育)

- ・いじめを許さない学級づくり
- ・自分や他者の多様な生き方や考え方を認め合う場面や活動の工夫
- ・児童会活動、縦割り活動の充実

○道徳教育・「特別の教科 道徳」の充実

- ・自らのよりよい生き方を考えるため、自分との関わりで捉える学習
- ・考えを交流させる対話的な学習

○自殺予防教育 (SOSの出し方教育) 等の実施

- きずなタイムの充実 (ふれあいの時間)
- SC, SSW, 子育て支援課との連携
- 組織的な不登校対応

豊かな心の育成(徳)

○命を大切に、元気に登校し、授業に集中する児童の育成

- ・相談ポストの活用
- ・手洗い、手指消毒等の励行
- ・家庭と連携した子どもの生活習慣の改善
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の推奨

○体力面の課題を把握し、その改善、向上を図る活動の充実

- ・楽しく取り組める体育活動を通し、運動に親しむ態度を育てる
- ・新体力テストの結果の活用 (継続して取り組める体力づくり活動の充実)
- ・北小タイム、北小体操の実施
- ・健康体力一校一実践

○生活習慣等の課題の把握・改善、向上を図る活動の充実 (自己管理能力の育成)

- ・体育科(保健領域)の学習や保健指導や食育の授業を通して、児童の健康に対する意識を高める
- ・病気やケガに対する予防的な取組
- ・養護教諭、栄養職員の専門性を効果的に取り入れた指導・授業の工夫

健やかな体の育成(体)

学級経営の充実(子ども達が主人公)

- ・教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てる土台となる学級づくり
- ・児童が所属感、自己有用感を持ち、児童一人ひとりのよさや可能性を生かすことのできる学級集団

○学校開放の推進と情報発信の充実

- ・授業参観、学級懇談、家庭訪問の実施
- ・学校だより、学年だより、保健だより、図書だより等の各種通信の定期的な発行と充実
- ・学校ホームページによる情報発信の充実

○コミュニティスクールを核に地域人材を積極的に活用した教育活動の充実

- ・教育ボランティアによる学習支援、読み聞かせ
- ・教育課程におけるゲストティーチャーの位置づけ

○笛南中学校区3校連携及び保幼小連携の推進

- ・あいさつ・家庭学習・そうじ・Noスマホ・合同研修会

○安全・安心な学校生活の確保

- ・登校班の指導、通学路点検、安全パトロールとの連携
- ・危機管理マニュアル、防災マップの周知と適切な見直し

○家庭教育の力

- ・子どもの生活習慣の改善(「早寝、早起き、朝ご飯」)
- ・学習に向かう力の育成(学習用具の準備・自主学習の定着)

○PTAとの連携(行事・廃品回収・愛校作業等)

○学校運営協議会(コミュニティスクール)と学校評価を反映した学校経営

保護者や地域から信頼され、
地域と共にある学校づくり